



|    |                         |                     |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                     |                   |                      |                      |                      |                      |                      |                      |            |         |            |
|----|-------------------------|---------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|-------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------------|---------|------------|
| す。 | トの前や夏休みなどにわたしてもよく利用します。 | 図書館はとても便利な施設です。定期テス | 売れる本ばかりだものね」とも言いました。 | ん本があるけど商売だからね、新しい本とか | と話してくれました。「本屋さんにもたくさ | 良い本が置いてあるのが図書館の魅力よね」 | 間に二冊くらいは借りてくるかな。古くても | てくるの」と聞いたことがあります。「一週 | て家で読んでいます。「どのくらい本を借り | 母は本が好きで、図書館から本を借りてき | ただけけど……母は残念そうでした。 | きな本だったから、手元に置いておきたかつ | 探しましたが、見つかりませんでした。「好 | つのビル丸ごとの本屋さんです。二人で本を | お茶の水の大きな本屋さんに寄りました。一 | 母がどうしても欲しい本があるというので、 | 先日、母と一緒に出かけたときのことです。 | ○ ○ 中学三年一組 | ● ● ● ● | 税金が作った知の宝庫 |
|----|-------------------------|---------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|-------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------------|---------|------------|

だけだけでなく、勉強をすることも、視聴覚室で  
 音楽を楽しむこともできます。名作映画を鑑  
 賞することもできます。  
 しかし、図書館にはもつと大切な役割があ  
 ります。「古くても良い本が置いてある」と  
 母が言ったように、本の専門家である司書の  
 人たちが古い本をきちんと修理してくれて、  
 新しい本のようきれいな状態で読めるよう  
 にしてくれています。専門の知識を活用して  
 良い本をわたしたちの代わりに選んでくれま  
 す。どこにどの本があるのかわかりやすいよ  
 うに分類をしてくれています。  
 こんなに便利な図書館ですが、わたしたち  
 の父や母、そしてみんなが少しずつ出し合っ  
 た税金で作られ、運営されています。図書館  
 はわたしたち人間が作り上げた知識を集成  
 した知の宝庫といふべき貴重な施設です。  
 もし、わたしたちが「税金を納めるのはい  
 やだ」「税金を安くしてほしい」と言ったら  
 図書館はできないでしょう。わたしたちは本

が読みたくなったら、お金を払って買わなければいけません。学生のわたしたちが気軽に本を読むことはできなくなります。所得の少ない人も本を読むことが困難になります。何か調べ物をしたとき、高価な事典を購入する必要があるあります。調べものをするのにすごいお金がかかることになります。古い本を読みたくなったら古本屋さんを何軒も回ることになるでしょう。地方に住んでいる人は、東京の古本屋街まで行くのに、時間もお金もかかります。図書館がなかったら本から得られなくさんの役に立つ知識なしに、わたしたちは生活をしなければなりません。多くの人から集めたお金で、みんなの役に立つ施設を作ったり、サービスを提供したりするのが税金ということを知っていました。しかし、身近なところで税金がどのように使われているのかを意識することもありませんでした。図書館のようにわたしたちがよく使う施設やサービスも税金から成り立っている

と考えると、税金がとても身近な存在に思えてきます。お金はわたしたちにとって大切なものです。わたしたちが生活できるのも、学校に通えるのも、部活動に参加できるのも、父や母の収入のおかげです。しかし、お金は個人が好き勝手に使っては、無駄遣いが増えてしまいます。税金という形で、みんなから公平に集め、計画的に使うことで多くの人たちに役立つものになります。個人個人の力では不可能な物事も、みんなで協力すれば可能になります。その源となるのが納税という制度なのです。図書館で自由に本を読んだり、勉強できたりするの、父や母が、そして多くの人が負担してくれた税金があるからです。わたしは税金について考え始めたばかりです。まだまだ知らないこともたくさんあります。これから少しずつでも税金のことを勉強し、将来はみんなの役に立てるようになりたく思います。と納税する大人になりたいと思います。